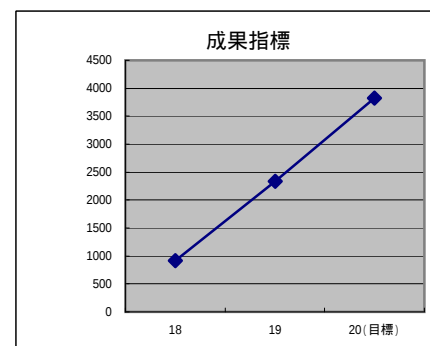
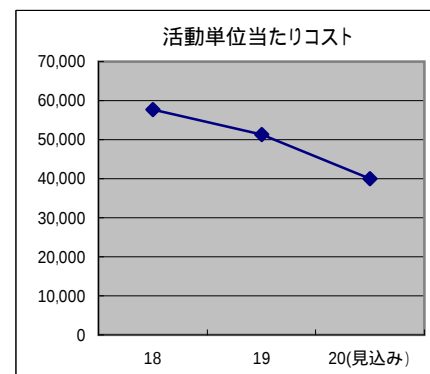


事務事業名		行財政改革推進事業		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	2	総務費	
					項	1	総務管理費	
					目	5	企画費	
					事業	65	行政改革推進	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	5	信頼に基づく市民とともに作るまち	作成部署		総務部行財政改革推進室		
	施策(節)	3	行財政運営	連絡先		072 - 958 - 1111 内線 3590		
	施策の方向	(3)	財政の健全化					
関連する計画等				羽曳野市行財政改革大綱、羽曳野市財政健全化計画				
事業の目的	対象(誰を・何を)							
	職員・市民							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
事業の内容	効率的かつ効果的な行財政運営を目指し、財政の健全化を図る。							
	平成18年3月に「羽曳野市行財政改革大綱」及び「羽曳野市財政健全化計画(平成17年～平成21年)」を策定し、それに掲げた取組項目の着実な推進を図る。							
	(平成19年度)・取組項目について担当部署との進捗状況確認(調査表提出依頼、ヒアリング実施) ・研究・検討項目の具体化及び新たな取組項目の掘り起こし ・財政健全化計画取組項目実施工程表(平成19年度改訂版)の策定(取組項目131項目)							
根拠法令等		地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針(平成18年8月31日総行整第24号)						
事業開始時期		☐ 昭和 ☒ 平成 9 年 月開始 ☐ 明確にはわからない		終了年度		平成 年度		
事業開始時からの状況変化		平成13年度決算で赤字財政に陥ったが、行財政改革に積極的に取り組んだことにより、平成18年度決算で黒字に転換し、平成19年度決算においても黒字を維持できた。						
市民や議会の要望								
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 外郭団体委託	名称	委託内容				
		☐ 民間委託						

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		19	11	21
人件費【2】 (千円)		7,140	6,720	5,460
職員数	正規職員	0.85 人	0.80 人	0.65 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		7,159	6,731	5,481
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	7,159	6,731	5,481
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
財政健全化取組項目数 項目		124	131	137
財政健全化実施済項目数 項目		72	93	102
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		57,734 円	51,382 円	40,007 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		59 円	56 円	46 円



成果指標	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	式)	取組効果額(百万円)	財政健全化計画初年度(平成17年度)からの財政健全化取組効果額の累計	目標	960	2,164	達成率(%)
				実績	917	2,337	108.0%
	式)	財政健全化項目実施率(%)	財政健全化取組項目が計画どおり実施できている割合	目標	58.1	71.8	達成率(%)
				実績	58.1	71.0	98.9%

担当 部局 評価	総合評価
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	財政健全化の取り組みについては、実質収支が2年連続黒字となり一定の成果があったが、計画どおりに進んでいない項目があり、より一層財政健全化に取り組まないと、再度赤字財政への転落が危惧される。 今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など) 取り組みの進行管理に努めるとともに、財政健全化計画取組項目実施工程表（平成20年度改訂版）を策定し、効果額の上積みと新たな取組項目の追加を図り、黒字を維持する。